

生きた植物から濃縮抽出のフルボ酸原液を基盤に あらゆる微生物群や植物を活性化する植物由来の天然素材 フルボ酸 + α 、用途別に最適利用環境に組合せ融合、お届けいたします

- 内水面の河川や池や庭園、ため池、調整池等での富栄養化によるアオコで汚濁等の水質浄化。
- 農業現場の土壌回復と、自然栽培用天然素材による完熟たい肥による有機農法
- 養豚や養鶏現場での臭気防除・健康管理、そして資源循環
- 市民生活面で臭気防除や健康維持等に万能な「家庭常備品」のご利用が始まっています。



フルボ酸は植物由来であり、国際用語です。国内では腐食酸として昔からその存在は知られていました。フルボ酸はあらゆる個所で微生物や植物を活性化させる役割を担います。

太古の昔からの生きた植物が倒れて固体化したものが石炭。液体化したものが石油。フルボ酸とは気体に近いものとされ、第3のエネルギー資源とまで言われています。

植物や微生物が生育するために必要な元素を、土壌中からイオンとして取り込める仕組みを、場所を限定することなく微生物や植物に与えてくれます。



株式会社 トーダイメディア研究所

- * 特定地域に「外来種」としての微生物群を組み込み等で投入する手法は、生物多様性上でのバランス効果にリスクを生じる可能性と、持続性にも課題があり、その箇所の「生物多様性」のあるがままに任せていきます。
- * フルボ酸の原液を1として、土壌など地球環境への直接投入下への希釈濃度は塩害箇所「五百倍」以上、水田裸地や畑やの土壌等で「1千倍」以上と見なしています。
- * フルボ酸の原液を1として、生命環境上で微生物等を活性化させるの濃度は「百万倍」以上と見なしています。

あらゆる微生物群を活性化させる植物由来の天然素材

フルボ酸 + α は、対象箇所での地球環境 + 生命環境下での微生物群の活性化とその活動成果と、さらに生物多様性のバランス効果が担保する成果です。

1 土壌改良用、塩害回復用途 土壌に関わる部分での利用

土壌に関わる部分での利用でフルボ酸はすばらしい環境改善の基礎資材です。それだけに、間違いのない使い方をすべく、数年がかりで試行を行い、これからも継続してまいります。

- (1) フルボ酸は、すでに国の積算根拠資料に掲載されており、その原液は国によって土壌改良や塩害回復用途には大量に使用されています。これらは、原液を希釈して使用することで地球環境そのものを、土壌環境を回復させる目的で使用されています。精製することなく原液を希釈しての利用です。
- (2) 水田や畑地、花き栽培現場での農地の土壌改良用
十分な試行による効果を確認してから、かつ段階的に利用範囲を拡大ください。

2 フルボ酸原液を精製した ⇒ ハイパーキレートイオン

フルボ酸を生命環境への投入により微生物の活性化による効果に関心。数年間もの時間経過もありフルボ酸とはなにかを多様な個所に生息をする膨大な微生物群の活動と成果が分かってきました。

同時に使用上での注意すべきことが多々あり、特に濃度管理が最も重要なことと分かりました。

高濃度により微生物群の死滅が起こりかねず、逆効果となります。微生物へのフルボ酸供与は、濃度を薄めて薄めて正しく行う必要性があります。

現在ほぼ利用すべき方法等に関して実証技術が固まり、どのようなメカニズムなのか詳細に解析を行いつつあります。

- (1) 自然栽培が理想とされ、そのために完熟たい肥を大量に生成する必要がある農業現場向き
一例として、河川や畔等での雑草等を大量に集積し、フルボ酸処理による低温発酵によって、それらのたい肥を促進し海洋性ミネラル等の投入を含めて、完熟たい肥を生成する仕組みが確立されています。
- (2) 養豚の臭気防除、食物残渣の臭気防除などに
養豚や養鶏の現場で発生する臭気等に対して、精製済みフルボ酸を養豚用の飲用水を含む水タンクに投入することで、経過2ヶ月程度で、養豚場全域で消臭が進みだします。また、家畜の健康維持にも有用となります。また食品加工工場等や食品残渣処理廃棄物センター等で生じる食物残渣等の臭気問題にも解決策となります。
- (3) 水質浄化には、フルボ酸 + 火山礫のセット
内水面の湖沼や公園・庭園等の富栄養化した箇所、アオコ等による汚濁にも対応を提案できます。特に、湖沼や庭園灯で「池の水を抜く」対応後の回復期に撒布することで高い効果が期待できます。
- (4) 市民の生活圏内での臭気防除にも活躍しています
フルボ酸は、生活の中でも多種多様な化粧品等に広く利用されています。特に今後、体内微生物の活性化による健康促進効果が期待されています。

3 精製済みフルボ酸溶液の正しい利用法に関して フルボ酸 + 適用業務コンサルタンツ

フルボ酸のご利用先への訪問サポートを重視しています。ハイパーキレートイオンの使用経過を個別箇所ごとに相違する現場ごと確認をさせていただきます。勉強会も、コンサルタントもお引き受けいたします。

製造会社 株式会社日本ソフケン

開発・販売・コンサルテーション会社

株式会社トータルメディア研究所

地域創生事業部

113-0021 東京都文京区本駒込4-38-1-207 富士ビル

電話 03-3824-6071 FAX 03-3824-5980

HP <http://www.tml.co.jp>

web : info@tml.co.jp